

無菌性髄膜炎

2015年31週に6例、32週0例、33週0例、34週4例、35週3例、36週3例の報告があった。定点当たり報告数は、2010年～2014年の平均と比較し、3週連続で多くなっている(図1)。そこで2010年～2015年36週に報告された237例の発生状況をまとめた。

性別は、男性148例(62.4%)、女性89例(37.6%)で、男性に多い(表1)。

年齢群別では、5歳未満39例(16.5%)、20代37例(15.6%)、30代29例(12.2%)、40代25例(10.5%)が多い(表2)。

検査方法として報告されたのは、不明169例(71.3%)、その他26例(11.0%)、核酸検出(PCR・LAMP等)15例(6.3%)、分離・同定13例(5.5%)、抗体検出12例(5.1%)、抗原検出1例(0.4%)、塗抹検鏡1例(0.4%)であった。

検査結果に報告された病原体は、不明182例(76.8%)、陰性27例(11.4%)、水痘・帯状疱疹ウイルス7例(3.0%)、ムンプスウイルス7例(3.0%)、クリプトコックス属6例(2.5%)、ヘルペスウイルス3例(1.3%)、結核菌2例(0.8%)、肺炎マイコプラズマ2例(0.8%)、他の細菌1例(0.4%)であった。

図1 2015年千葉県の無菌性髄膜炎定点当たり報告数

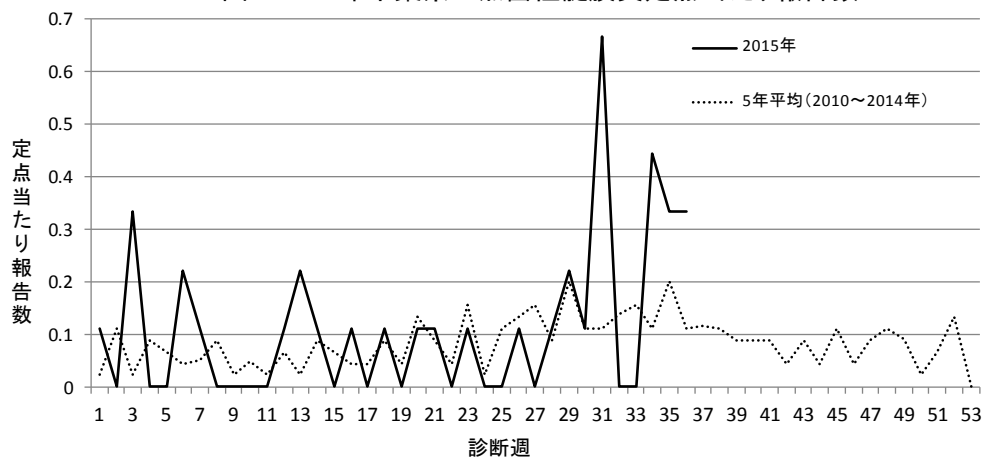


表1 2010年～2015年36週千葉県の無菌性髄膜炎年別・性別報告数

年	男性		女性		合計
	報告数	%	報告数	%	
2010年	17	51.5	16	48.5	33
2011年	28	66.7	14	33.3	42
2012年	18	56.3	14	43.8	32
2013年	26	57.8	19	42.2	45
2014年	35	72.9	13	27.1	48
2015年	24	64.9	13	35.1	37
合計	148	62.4	89	37.6	237

表2 2010年～2015年36週千葉県の無菌性髄膜炎年別・年齢群別報告数

年齢群	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%
5歳未満	8	24.2	7	16.7	7	21.9	8	17.8	7	14.6	2	5.4	39	16.5
5～9歳	2	6.1	6	14.3	7	21.9	0	0.0	4	8.3	2	5.4	21	8.9
10～14歳	2	6.1	3	7.1	1	3.1	0	0.0	1	2.1	0	0.0	7	3.0
15～19歳	1	3.0	0	0.0	1	3.1	2	4.4	3	6.3	3	8.1	10	4.2
20代	7	21.2	5	11.9	4	12.5	8	17.8	7	14.6	6	16.2	37	15.6
30代	5	15.2	3	7.1	4	12.5	8	17.8	5	10.4	4	10.8	29	12.2
40代	0	0.0	2	4.8	1	3.1	4	8.9	11	22.9	7	18.9	25	10.5
50代	1	3.0	6	14.3	3	9.4	5	11.1	1	2.1	3	8.1	19	8.0
60代	4	12.1	2	4.8	3	9.4	4	8.9	2	4.2	0	0.0	15	6.3
70代	3	9.1	4	9.5	0	0.0	5	11.1	3	6.3	6	16.2	21	8.9
80代	0	0.0	4	9.5	1	3.1	1	2.2	4	8.3	3	8.1	13	5.5
90代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	1	0.4
合計	33	100.0	42	100.0	32	100.0	45	100.0	48	100.0	37	100.0	237	100.0